

九州大学では、2020年7月に公式「LGBTs サポートガイド」が発行されました。芸術工学研究院では、これを記念し、シンポジウム「LGBTsと包摂型社会のためのデザイン—大学・職場・社会に新たな価値を創造する」を開催いたします。
社会制度などを新しい視点からデザインしていくことが不可欠です。シンポジウムには、大学や企業、社会の環境改善に精力的に取り組んでいる3人のパネリストをお招きし、今、何が課題となっているのか、そして**デザインに何が求められているか**について意見を交換します。LGBTsや性をめぐる**新たな価値観の創造**にデザインがどのように関わっているかを、パネリストや参加者の皆さんといっしょに考えていきたいと思ひます。どなたでも申し込み頂けますので、皆様のご参加お待ちしております。

2020.10.3(土)14:00-17:00
@オンライン

九州大学「LGBTs サポートガイド」発行記念シンポジウム / 第3回社会包摂デザイン研究会

LGBTsと包摂型社会のためのデザイン。

～大学・職場・社会に新たな価値を創造する

同時開催：「九州大学学内におけるLGBTs 関連教育・サポート拡充のためのアンケート調査」
オンライン展示「ことばとジェンダー展」

Design vs. Diversity 五十嵐 浩也

筑波大学特命教授 (DAC センター顧問・アントレプレナー教育担当)

大学 (理工学部・機械工学科) 卒業後、GK インダストリアルデザイン研究所、富士ゼロックスデザイン研究所を経て、筑波技術短期大学、筑波大学芸術系教授。ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長・筑波大学執行役員ののち、現職

LGBTQ コミュニティセンター立上げとデザインアプローチ 佐藤 守

アクセント株式会社 インタラクティブ本部 シニア・マネジャー

現職においては、デジタル時代の事業戦略策定、新規事業・サービス立上げ、組織設計・変革推進、マーケティング業務改革といったプロジェクトをリード。アクセント・ジャパンにおける LGBTQ Ally ネットワークリードを担当し、社内外の Ally および当事者向け施策立案・推進に従事。アクセント芸術部の企画プロデューサーであり、『(デザイン+アート) x ビジネス x テクノロジー領域』について、アクセントで有数の見識を持つ。

私たちの「日常風景」とデザイン-「あたりまえ」を解きほぐす- 中島 潤

性の多様性発信者 (パラレルワーカー：NPO 職員、研修講師等)

福岡県生まれ、大学在学中より、関東にて性の多様性をテーマにした発信活動を開始。民間企業勤務を経て、大学院にて社会学を専攻、修士 (社会学)。現在は、複数の仕事のひとつとして、各地の行政や学校、企業にて、「多様な生き方、多様な性のあり方」をテーマにした発信活動を行っている。性のあり方は誰にとっても人権であり、自分らしく生きるための大切な要素だと考え、特に子どもたちへの発信と教育に関心を持っている。

参加申込みは
こちらから

アンケートは
こちらから



Design Initiative for
Diversity & Inclusion
社会包摂デザイン・イニシアティブ

主催：九州大学大学院芸術工学研究院 社会包摂デザイン・イニシアティブ 準備室
後援：九州大学キャンパスライフ・健康支援センター、九州大学男女共同参画推進室
九州大学ソーシャルアートラボ、九州大学芸術工学部未来構想デザインコース